●JICA国内研修ゲンバ訪問記 VOL.21 持続可能な沿岸漁業Ⅱ@鹿児島編

OJAMA-SHIMASU

わたし 編集タキオカさん

たけだみりこ

たけだみりこ　漫画家。4コマ、ショート、料理漫画を中心に活動中。著書に『セイシュンの食卓』『異国のメシーる』『クッキング カンタンタン』『キッチンの穴』など。http://majop.com/Neji/

EDITOR'S MEMO

今回紹介する研修は「持続可能な沿岸漁業Ⅱ」。JICA九州が鹿児島大学水産学部の協力を得て実施している。この研修は、開発途上国の水産業に携わる普及員や技術者、行政官などを対象に、日本の沿岸漁業の技術・事例を紹介し、漁業管理手法を習得してもらうことで、沿岸漁業の持続的な開発と普及振興に総合的な観点から貢献できる人材の育成を目指している。その内容は、主要な沿岸漁業の技術を中心に、漁具構造、水産資源生物学、漁業管理方法、適切な漁業技術・漁業規制の普及方法など多岐にわたる。これらのことを鹿児島大学での講義や鹿児島湾での実習で学ぶほか、魚市場や漁具製作工場、水産加工工場などの視察の機会もある。

今年は3～6月に実施され、ギニア、インドネシア、ケニア、フィリピン（2人）から5人の研修員が来日、鹿児島市で共同生活を送りながら、研修に励んでいる。私たちが訪れた日は、実際に漁具や計測機器・装置などを使って漁業資源調査の手法を習得する実習が行われた。素人の私たちには難しい内容に思われたが、限られた資源を適切に管理・利用するとともに、好適な漁場を把握し効率的に漁業を行うために、こうした漁場探査が有効であることを、研修員とともに学ぶことができた。